

平成31年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
1	市町村が実施する防災対策に対して支援してほしい。	進化する「とくしまゼロ作戦」緊急対策事業により、引き続き支援して参ります。	とくしまゼロ作戦課
2	「エシカル消費」について、県民に分かりやすい広報をしてほしい。	「エシカル消費」についてより多くの県民に対して広報するため、雑誌への集中的な広告等を実施します。	消費者暮らし政策課
3	動物愛護管理センターに收容される犬・猫の殺処分をもっと減らしてほしい。	譲渡交流拠点施設「きずなの里」を活用し、ボランティア等との連携による、犬・猫の譲渡を推進します。	動物愛護管理センター
4	遍路道の保全など、遍路文化の保存・継承を支援できる仕組みを構築してほしい。	お遍路さんをはじめ、皆様のお気持ちを、遍路資産の保存・継承に繋げるため、クラウドファンディング型ふるさと納税制度を活用した取組を実施して参ります。	広域行政課
5	奨学金返還支援の事業において、対象を短大生や専門学校生まで拡大して欲しい。	若者の地元定着を促進し、地域経済を支える産業人材を育成するため、対象を短大生や専修学校生(専門課程)まで拡げ、制度の拡充を図って参ります。	県立総合大学校本部
6	進学や就職を機に、10代後半から20代の若者の転出が著しい中、若者世代の「ふるさとへの定住とUターン」を促進してほしい。	本県ゆかりの若者を「アンバサダー」に委嘱の上、若者目線での情報発信を強化するなど、若者の「とくしま帰郷」への機運醸成を図って参ります。	地方創生推進課
7	家庭育児世帯の負担軽減策として、子育て支援サービスの更なる充実を図るとともに、利用料への支援など、サービスを利用しやすい環境づくりを進める必要がある。	ご意見を基に、様々な子育て支援サービスの利用料金の支払いに使用できる「とくしま在宅育児応援クーポン」を交付する事業を創設したところであり、今後も、市町村と連携し、在宅育児家庭の更なる負担の軽減を図って参ります。	次世代育成・青少年課
8	児童虐待防止対策を強化してほしい。	複雑多様化する児童虐待事案に対応するため、県こども女性相談センターにおける児童福祉司の専門性向上に向けた研修内容の充実を図って参ります。	次世代育成・青少年課 こども未来応援室

平成31年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
9	トライアスロン競技における監視態勢が安心感を与えてくれた。	海上における競技会に参加する選手の安全確保のため、事故防止に努める人材を養成し、参加する選手が安心して競技できる環境を整備します。	県民スポーツ課
10	「食品ロス」を減らすために、一人一人の「もったいない意識」を高めるための取組みが必要ではないか。	食品ロス削減に向け、実演型セミナーやスーパーなどでの店頭キャンペーン等の普及啓発活動をさらに充実させるとともに、本年10月には「第3回食品ロス削減全国大会」を開催し、家庭と事業者の両方に働きかけを行い、県民運動へとつなげて参ります。	環境首都課
11	同じ若者の話を聞き、悩みを共有したい。	大学生等に実施したアンケートを活用し、若者の「生の声」を集めたノベルティを作成し配布することで、不安や悩みの共有化を図り、「自分だけじゃない」という安心感につなげて参ります。	保健福祉政策課
12	大規模災害に備え、病院の災害対策を強化してほしい。	災害時に被災地で活動する医師等の養成や、病院BCP(事業継続計画)の策定等を支援し、医療機関の災害対応力の強化を図ります。	医療政策課
13	晩婚化が進んでいることを踏まえ、不妊治療費助成制度を一層充実させて欲しい。	本県独自の助成制度を引き続き行うとともに、国の制度拡充にあわせて、男性不妊治療の初回治療助成額を拡充することにより、不妊治療費助成制度の更なる充実を図ります。	健康増進課
14	ジェネリック医薬品使用に関する分析データを各医療機関に提供してほしいか。	ジェネリック医薬品使用に関する分析データを作成し、提供することにより、各医療機関がジェネリック医薬品を使用しやすい環境を整えます。	薬務課
15	介護人材の不足を解消し、職場への定着率を上げる事業を実施してほしい。	介護職の離職防止を図るため介護職員のスキルアップを行う補助制度の更なる周知や、介護職のイメージアップのため小学校、中学校での介護講座の実施、アクティブシニアの活用など、介護人材確保のための事業を強化していきます。	長寿いきがい課
16	平成31年10月からの消費税増税に対し、中小企業向け融資制度を充実させて欲しい。	消費税増税への対策として、「短期事業資金」の融資額の拡大を行うとともに、小規模事業者が対象となる「小口資金」において、保証料率の一部引下げを行うことで、円滑な資金調達を支援します。	商工政策課

平成31年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
17	新規に創業を行う場合の資金支援施策を充実させて欲しい。	県内における新規創業者を対象として、創業に要する経費を補助する新たな支援制度を創設します。	企業支援課
18	地域の資源を活用した新商品開発に取り組む県内企業への支援を充実して欲しい。	「藍」や「LED」などの地域資源や高機能素材を活用した新商品の県内企業との共同開発や、研究に取り組むとともに、情報発信、展示会出展支援等を積極的に行って参ります。	新未来産業課 工業技術センター
19	26年ぶりに国内で「豚コレラ」が発生し、野生いのししの関与が強く指摘されているが、「家畜伝染病に対する野生鳥獣対策」を強化して欲しい。	従来の「飼養衛生管理基準の遵守」に加え、関係機関と連携しながら、「野外及びモデル農場での実態調査」など「野生鳥獣を巡る家畜伝染病対策」を強化し、「安全・安心な本県畜産物」や「ジビエ」の安定的な生産につなげて参ります。	畜産振興課
20	鳴門わかめの信頼回復に向けた取り組みを進めて欲しい。	「徳島県鳴門わかめ認証制度」の推進により、消費者の皆様へ安全・安心な鳴門わかめが届くように努めています。平成31年度においては、当制度をさらに強化し、鳴門わかめのブランド力強化による信頼回復に取り組んで参ります。	水産振興課
21	かんきつ産地の強化を図るため、旧果樹研究所を利活用し、かんきつ人材の育成に有効活用して欲しい。	旧果樹研究所の利活用を図り、次代を担うかんきつ人材を育成する「徳島かんきつアカデミー」を3月に開講し、関係機関連携のもと、栽培技術はもとより、加工・流通、さらには機械整備などの幅広い研修を実施することにより、経営感覚に優れた人材育成を図って参ります。	農林水産総合技術支援センター経営推進課
22	洪水被害を未然に防ぐため、堆積土砂の除去や立木伐採など、適切な維持管理を実施してほしい。	定期的な河川巡視のもと、治水上支障と認められた箇所については、適切な対応を実施し、「治水機能の確保」に努めています。 さらに、近年、頻発・激甚化する豪雨災害に対し、災害予防の観点から、即効性の高い「樹木伐採」「土砂掘削」を進めて参ります。	河川整備課
23	異常気象に伴う洪水から身を守るため、きめ細やかな情報発信をしてほしい。	本県においては、水害を最小限に抑えるため、避難に不可欠な河川情報の提供など、洪水への「備えの強化」に取り組んでいます。 さらに、住民の迅速な避難行動につなげるため、洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」を積極的に導入して参ります。	河川整備課
24	異常気象に伴う豪雨等による浸水被害を解消するため、これまで以上に、河川改修を加速して欲しい。	河川整備などのハード対策は、「災害予防」の観点から、近年重大な浸水被害を受けた箇所から重点的に整備を進めております。 さらに、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に基づき、洪水を安全に流すための対策(堤防整備・河床掘削)を加速させて参ります。	河川整備課

平成31年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
25	河川・海岸施設の地震・津波対策を推進してほしい。	地震・津波による被害の軽減を図るため、河川・海岸の堤防や水門の地震・津波対策を推進して参ります。	河川整備課 運輸政策課
26	徳島のクルーズ客船の寄港は、日本船が中心で阿波おどり期間に集中している。海外、特にアジアのクルーズ船にPRして、寄港回数を増やして欲しい。	国内はもとより上海や台湾などアジアにある船会社や旅行会社への積極的なポートセールスにより、阿波おどり以外の徳島県の魅力も発信することで、一年を通じた寄港の実現を目指して取り組んで参ります。	運輸政策課
27	来庁した県民が入りやすい、県民にやさしい雰囲気のでちくんテラスにしてほしい。	気軽に立ち寄っていただける場となるよう、四季を感じる「すだちくんテラス」を演出し、利用者の増加を図り、広く県政を知ってもらう機会を創出します。	監察課
28	ワールドマスターズゲームズ2021関西に向けて、「サーフィン」による経済効果を測定し、大会の機運醸成を図ってはどうか。	平成31年度に開催される全日本サーフィン選手権大会において地域経済効果の測定・検証を行い、ワールドマスターズゲームズ2021関西の機運醸成や、スポーツツーリズムによる地域経済の活性化につなげて参ります。	南部総合県民局
29	高齢化したベテラン農家を新規就農者の師匠・後見人とし、ベテラン農家の持つ技術や経験、土地などを有効に活用してはどうか。	ベテラン農家との連携によるオクラ・ナノハナの「トレーニングファーム」を海部地域で設置するなど、新規就農者の育成・定着に向けた新たな取組みを展開して参ります。	南部総合県民局
30	県南産の農産物をPRするため、ワールドマスターズゲームズ2021関西などのスポーツイベントで提供してはどうか。	那賀町の特産品である「ケイトウ」をスポーツイベントのピクトリーブーケとして提案し、新たな需用の拡大に繋げて参ります。	南部総合県民局
31	「きゅうりタウン」と同じような取組みを他品目でも打ち出してはどうか。	「きゅうりタウン」の取組みを参考として、阿南・那賀地域で広域的な就農支援体制を構築し、「木頭ゆず」をはじめとする様々な品目での担い手確保などに取り組んで参ります。	南部総合県民局
32	徳島県西部圏域「にし阿波」は近年外国人観光客が増加しているが、さらに多くの外国人が訪れてもらえるよう取り組んでもらいたい。	従来から来訪者が多い香港・台湾からのリピーターの拡大はもとより、新たなターゲットとしてシンガポールやマレーシアなどへのプロモーションを強化します。	西部総合県民局

平成31年度当初(骨格)予算編成過程に寄せられた
ご意見・ご提言に対する見解及び対応

No.	寄せられたご意見・ご提言	ご意見等に対する見解及び対応	所管課
33	世界農業遺産になった傾斜地農業の価値を子供たちにも伝えていくべきではないか。	「徳島剣山世界農業遺産推進協議会」と連携し、出前講座などにより、次代を担う小中高校生を対象にエシカル教育を実施します。	西部総合県民局
34	剣山の希少野生植物の調査や巡視ができる人材を育成してほしい。	植物研究の第一人者を講師とした講習会を開催し、自然保護を担う人材の育成を行い、剣山における希少野生植物の保護に取り組みます。	西部総合県民局